

南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 団体用 )

## I 基本事項

		整理番号	324
事業名	老人大学ちどり学園補助金	予算科目	会計 一般会計・1 款 民生費・3款 項 社会福祉費・1項 目 老人福祉費・3目
担当部課名	健康福祉部 長寿福祉課		
電話	0799 - 44 - 3005		
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり_知恵あふれ_郷土愛が満ちるまちづくり__	
	まちづくりの目標	一人ひとりが明日を拓くリーダー【教育】	
	施策目標	子ども達や市民が、南あわじ市の未来を切り拓くための、多様な能力を身につける機会を提供する	

## II Plan&amp;Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

団体の概要	団体の活動目的	(対象者をどのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 豊かな老後生活と個人の学習意欲を高めるとともに、相互に親睦を図り、地域での指導者として生きがいのある生活基盤を構築できる手助けをする。		
	団体の活動内容	(主な事業、具体的な活動内容等) 一般教養、各種クラブ活動、養成教室の開催 「介護予防」「高齢者と交通安全」講座等		
	団体の概要	(どのような人が団体の構成員となっているか、構成員の内訳等)		
		市内在住の60歳以上の高齢者(参加者 120名程度)	構成員人数(人)	120
	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 (西淡総合窓口センター) <input type="checkbox"/> 旧町単位 ( ) <input type="checkbox"/> 旧村単位 ( )
	補助金算出根拠	事業費の一部経費		
	補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)			
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 継続事業			

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
資源配分 (インプット)	直接事業費 (千円)	225	225	225	225	0
		225	225	225	225	0
	事務局事務費(市が事務局の場合)					
	財 源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	225	225	225	225	0
	人件費(正規職員)[B] (千円)	90	84	85	85	85
	平均人件費(1日当り)	30.1	27.9	28.2	28.2	28.2
	事業量1(事業に要した日数)	3	3	3	3	3
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1	1
	年間経費([A]+[B])	315	309	310	310	85
	「目的」対象人数1人当り経費 (円)	-	-	-	-	-
経費に関する 補足説明	平成21年度まで決算額。平成22年度以降当初予算額。					

### Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 老人クラブ西淡支部活動の独自の教養講座であり、老人大学うずしお学園を開設運営しているため集約すべきものであると考える。				自己評価 (5点評価)
					3
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input checked="" type="checkbox"/> 低	自己評価 (5点評価)
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 市の高齢者教養事業として老人大学うずしお学園を開設運営しているため、支部で開設する必要性が低い。				
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 地域の指導者を養成し、高齢者の生きがいのある生活を構築していく目的は市の老人大学うずしお学園と同調するため、西淡地区で独自で開設する必要はないと考える。 支部活動廃止に向けてすすまなければならない中、逆行することになるが、継続するのであれば、老人クラブ支部活動事業として運営するののも一つの考えかと思う。				<p style="text-align: center;">評価グラフ</p> <p style="text-align: center;">費用対効果      必要性</p>

## IV Action&amp;Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
今後の方向性とその理由	老人クラブ活動の一環で行っている事業であり、老人クラブ補助金で行う事業であると考え	
(現状維持以外の改善方法)	老人クラブの健康づくり活動事業の一環として行う。	
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	県補助金対象とすることによる一般財源の減額	
(現状維持の場合も記入) 廃止の影響	<b>仮に</b> 補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 予算削減 対象者から地元で講座を行いたいとの苦情が出る。 地元での講座は、老人クラブで行うことが可能である。	